

人がつながる田園都市



あきたかた

議会だより

今回の題字は、^{ほんだ}^さ^な 本田沙奈 さん（愛郷小学校6年生）です。

安芸高田市立愛郷小学校 開校式



新たな歴史のはじまり(4月5日)

新年度予算決まる

3月定例会 …… 2～ 3

新年度予算審査 …… 4～ 6

常任委員会報告 …… 8～12

一問一答

13人が**市政を問う** ……13～19

地域懇談会報告 ……20～21

あんな こんな

地域のかがやき ……24



安芸高田市
市議会のページ

第61号

2019(令和元)年5月15日発行

可
決ド構想で
安芸高田市」の実現
地域の魅力づくり、
教育環境・子育て支援の充実

3月定例会

3月定例会を2月21日～3月15日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など10会計の31年度予算と10会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり賛成多数で可決しました。(予算審査は4～7ページに掲載)

3常任委員会では、付託された議案審査や所管事務調査を実施しました。(8～12ページに掲載)

本定例会において付議された40議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

■付託議案以外で可決された主な議案

議案第35号

○道の駅(仮称)あきたかた新築工事の請負契約の締結

契約金額

6億4022万4千円

受注者

砂原・和田工事共同企業体

工期

平成31年4月1日～平成32年3月31日

■質疑

熊高 主要材料の調達
の厳しさがあったが、
工期も含めた入札結果
か。

蔵城建設部長

主要材料の調達に時間を要している。工期についても協議し、産直市の改修工事から進め、工期内におさめる。

■採決

全員賛成

■同意(2件)

教育委員会教育長の任命

永井 初男 さん

美土里町北

教育委員の任命

廣瀬 ゆみ子 さん

八千代町上根

同意

■発議(1件)

○日米地位協定の見直しを
求める意見書について

全国知事会からの「米軍
基地負担に関する提言」を
実行し、日米地位協定の抜
本的な見直しに取り組みよ
う要望するもの。

全員賛成

※国の関係機関へ提出する。

市民総ガイ

「住み続けたいまち 災害復旧・復興、 安全・安心への取り組み、

議案第25号

○31年度一般会計予算

■討論

■反対討論

児玉 田んぼアート公園整備事業は、経営主体や整備財源、ランニングコスト負担に課題がある。市民への説明責任が果たせず、まずは初期投資を控え、後年度負担を明確にした進め方が必要と考え反対。

山根 鑑賞期間の短い田んぼアートを持つてくるからには、しっかりとした運営体制のもと、初期投資を抑えた慎重な事業展開が必要と考え反対。

熊高 田んぼアート公園整備事業は、用地買収・造成の流れで建物ありきに結びつく。熟慮を重ね、見通しを示して進めるべきと考え反対。

■賛成討論

穴戸 災害復旧と復興の予算であり、人口減対策の予算であると考え賛成。

玉重 過疎地域自立促進計

画に田んぼアート公園整備事業を追加する議案第7号を、全会一致で可決しており認めるべき。

新田 本市の観光客、観光消費額は増加傾向であり、田んぼアートによって必ず賑わいを創出できると考え賛成。

前重 災害からの復興予算であり、早い復興が第一。田んぼアートは執行留保もされ、スケジュールも変更した予算であり賛成。

大下 田んぼアートは、順番や集客内容に曖昧なところがあり、多くの市民の反対もあることを認識していただき、賛成。

■採決

■賛成

新田・芦田・玉重・玉井・前重・石飛・大下・山本・穴戸・秋田・塚本・金行・水戸

■反対

山根・児玉・熊高・青原

賛成多数



本会議の議決風景

人口減を克服するため

「子育て支援の充実」「学校教育の充実」「地域での仕事づくり」

3600万円

水道事業会計 15億7882万3千円

予算決算常任委員会

2月21日の本会議
において審査を付託
された31年度一般会
計・特別会計予算10
議案を3月7日・8
日・11日の3日間委
員会を開き、慎重に審
査しました。

委員長 青原敏治
副委員長 大下正幸
委員 議長を除
く全議員

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

Q 光ネットワーク設
備貸付収入を、前年度
より2600万円減額
した要因は。

A あじさいネットに
係る、センター設備等
の機器保守を相殺した
ため減額している。

Q お太助フォンから
市のホームページが閲覧
できるよくなるのか。

予算決算常任委員会委員長報告（抜粋）

31年度の予算のポイントは、昨年7月の
豪雨災害からの復興のほか、最重要課題で
ある「人口減」を克服するための「子育て
支援の充実」「地域での仕事づくり」が主要
施策に位置づけられた予算計上がなされて
おり、「人口の社会増を目指す取り組み」が
進められる。

■ 企画振興部

Q 新社会人つながり
づくり事業は非常に評
価できるが、参加者同
士で給料を比べるデメ
リットがある。会社を

A 来年度は、お太助
フォンを市のホーム
ページにつなげ、災害
時の災害専用ページを
お太助フォンで見ること
ができるように準備
を進めたい。

若手社員の職場の定着、
つながりを目指して！



辞めて、別の会社に行
くことも考えられるた
め、その点の徹底を研
究材料としてもらいた
いが。

A デメリットについ
て何社かに確認したが、
横につながりができ、
得られるメリットのほ
うが大きいと意見を頂
いた。個々の対応につ
いては、事業を進める
中で、各企業の皆さん
と相談して決めたい。

予算のポイント

昨年7月の豪雨災害からの復興

一般会計 212億

特別会計 106億6229万7千円

■市民部

Q 市民総ガイド構想で、翻訳機器のタブレット端末を導入されるが、市民に向けた取り組みはできないか。

A 市民に向けた取り組みであるが、まずは職員研修を行い職員に、外国人との言葉の壁を少しでも低くすることを認識させたい。市民への啓発を行いたい。

Q 30年度にたかみや人権会館が改修され、31年度には甲田人権会館の改修費が計上されている。公共施設の統廃合が議論される中、将来的に4館ある人権会館を1館にする構想はないか。

A すぐにとはならないが、地域の事情を踏まえながら、今後どうあるべきかについて、慎重に議論していきたい。

■教育委員会

Q 情報教育推進基盤整備事業で、各学校にあるパソコンの入れ替え、電子黒板の設置にかかる計画の詳細は。

A 各学校にあるパソコン教室のパソコン約460台を、デスクトップ型からタブレット型に変更し、教職員用パソコン約330台を入れ替える。電子黒板は、既に小学校に約60台、モデル校の普通教室に21台を設置する計画である。



デスクトップ型からタブレット型へ

■福祉保健部

Q 甲田町の3保育園の統合による、財政的効果は。

A 公立保育所3園の運営費総額は、概算で2億6千万円程度であるが、いづみ園の運営費は、1億5千万円程度と見込まれる。統合により保育士の人材確保ができるようになる。



4月に開園 民設民営の甲田いづみこども園

り、美土里・高宮の3保育所が、保育所型認定こども園に移行できたほか、地域子育て支援センターの実施や子ども発達支援センターの充実など、子育てサービス面での効果が大きい。

地域の魅力づくり・活力づくりに 道の駅整備事業 田んぼアート公園整備事業 民泊事業

産業振興部

Q 田んぼアート公園整備事業にかかる民間との関係、市の取り組み体制の進捗状況は。

A 民間団体等の協議において、法人化に向けた定数等の整備や、法人登記が進められている。庁舎内では、プロジェクトチームを立ち上げ、関係部局で連携をとっている。3月中旬には実行委員会を開催するほか、市内の福祉施設と連携した事業展開も考えている。

建設部

Q 現在、JR芸備線が不通になっており、利用を促進するために、芸備線利用者の市営駐車場使用料を廃止する考えはないか。

A 芸備線の利用促進を目的に、甲立駅・向原駅の近隣に駐車場を設けるパークアンドライド事業を進めてきた経緯がある。民間の駐車場経営があることを考慮し有料としてきたが、芸備線の利用促進に向けた考えの一つとして、検討させていた

特別会計

Q 水道事業会計予算の中で、インフラ整備にかかる予算に将来的な不安はないか。

A 水道管は市内に540km余りある。耐用年数を超えたものを全て更新できればよいが、資金の融通がきく範囲内で進めるため、まずは不具合が生じる箇所



パークアンドライド（甲立駅）

修正動議

「議案第25号平成31年度安芸高田市一般会計予算」について、「田んぼアート公園整備事業予算の公園用地造成にかかる費用を減額するもの」との内容の修正動議が提出された。

討論・採決

修正案 賛成討論

①市の財政を圧迫する施設になってはならないため、実証実験により、将来的に必

賛成少数

ず成功する見通しが立ったうえで実行することが望ましい。
②31年度は試験的に取り組むことを踏まえて事業を進めると言われながら、用地買収をされることは時期尚早である。

原案賛成討論

①これまで特別委員会で調査し予算等を賛成してきた経緯がある。新たな観光資源として市の魅力を感じていただくためにはこれらの予算措置は必要。

②市民の多様な意見があることは十分承知しているが、特別委員会で綿密かつ緊急的に調査を継続することにより事業推進を図るべき。

原案可決

30
年度
補正

一般会計 補正予算

3億874万1千円減額

(予算総額 238億8175万5千円)

可
決

主な増額

- 小学校・中学校設備等
管理整備事業
約2億5500万円

主な減額

- <土木施設災害復旧費>
○30年度予算を減額し31年度当初予算で計上
▲約3億7380万円

他市町に先駆けて 学校のエアコン整備完了

■教育委員会
Q 特別教室のエアコン設置に、1億5千万円を計上しているが、小・中学校の何教室に設置されたことになるのか。
A 小学校特別教室21教室と中学校特別教室40教室に設置するので、ほぼ全て設置されることになる。



31年度予算に改めて計上される向原町寺山橋

主な質疑

■総務部

Q 災害用の備品は、各支所に置かれていると思うが、食料品もあるのか。
A 給水タンクや、プライベート保護のパターションが主なもの。食料品は消耗品費として購入している。

■福祉保健部

Q 児童扶養手当費501万1千円、児童手当給付事業費2406万円の減額理由は。
A 児童扶養手当費は9名減少しているので、1カ月あたり約4万2500円に12カ月の人数分を乗じると概ね500万円。児童手当給付事業費は、延べ1658人減少と見込み2406万円を減額した。

■産業振興部

Q 観光振興施設補助金を7月豪雨災害の精算

により減額した理由は。
A 9月補正では豪雨災害による市の観光施設等の宿泊利用の減少に伴う経営支援を行ったが、実績により減額した。

■企画振興部

Q 旧三江線代替交通確保運営基金の交付対象となる事業は。
A 旧三江線の代替バスの持続可能性を高める施策や、沿線地域活性化につながる事業が対象である。

Q 観光ポータルサイトへの接続は、市のホームページからの接続か。また、新たなアプリケーションで市を広報する考えはあるのか。
A 観光協会からの接続となる。アプリケーションが多くの人に伝わるようであれば、検討する必要があると考えている。

総務企画常任委員会

2月25日に委員会を開き、議案7件、要望1件、陳情1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市基幹集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市公共施設使用料の適正化及び消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例
- 安芸高田市地域福祉基金条例の一部を改正する条例
- 新市建設計画の変更について
- 安芸高田市公の施設の指定管理者の

安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

概要

道の駅(仮称)あきたかたの運営会社創立後の運営体制の確立や計画策定等について諸準備を行うために「道の駅事業調整員」を配置するもの。

質疑

塚本 事業調整員はいつまで置くのか。また、駅長就任となるのか。

行森政策企画課長

委嘱の日から来年度末までとし、駅長は別途選任する。



道の駅建設予定地

安芸高田市基幹集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例

概要

新設する甲立地域交流センター及び、高宮川根生活改善センター、川根地域振興センターの2施設を追加するとともに、「生活改善センター」設置及び管理条例」を廃止するものであり、また、利用料金の見直しを行うほか関連条文の改正を行うもの。

質疑

山本 料金の上限とあるが、上限額より安くしても良いということか。

内藤財産管理課長

上限額を決めたものであり、この範囲内で利用料金を徴収することは可能。



新設された甲立地域交流センター

安芸高田市公共施設使用料の適正化及び消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例

概要

公共施設の使用料等について「受益者負担の適正化」の考え方に基つき、「人権会館設置及び管理条例」等関係8条例の利用料金に係る規定を改正するものであり、併せて消費税率引き上げに伴う改正を行うほか関係条例を整理するため改正を行うもの。

質疑

先川 今まで使っていた料金よりどうなるのか。また指定管理料と料金の改定は、河本財政課長 旧町間

でも料金体系がばらばらであったものを統一するということであり、時間単価にしたので高くなっている部分もある。

西岡企画振興部長

減免規定もあり指定管理に大きく響くことはないと思っている。

新田 安芸高田市道路占用料について改正前と改正後は、小野管理課長 3年

おきに固定資産税の評価額をもとに改定している。この度4月1日に国、県に準拠して改定するもの。

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 新田 和明
委員 石飛 慶久
山本 優
塚本 近
先川 和幸

指定について
○過疎地域自立促進計画の変更について

(審査した要望)

○要望書「建設フェスタ in 安芸高田」の安芸高田市の補助事業としての位置付けについて

(審査した陳情)

○陳情書全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

安芸高田市地域福祉基金条例の一部を改正する条例

概要

高齢者福祉施設整備の財源となる基金を今後、市民の健康と福祉の向上、施策推進に有効的に活用していくため「地域福祉基金条例」の一部を改正するもの。

新市建設計画の変更について

概要

合併特例債を活用した事業期間が5年間延長されるもので「新市建設計画」の計画期間についても変更する必要があるため議会の議決を求めるもの。

安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

概要

甲立地域交流センターほか6施設について「公の施設における指定管理者の指定手続き等に関する条例」の規定により指定管理者の候補者を選定したので議会の議決を求めるもの。

質疑

塚本 公募をしても良いような施設もあるが公募についてどのように考えているのか。

河本財政課長

地域に密着した施設は地域で管理してもらった方が最適とされている。一方、施設の特性を引き出せることができる施設については公募を取り入れていくべきかと考えている。

過疎地域自立促進計画の変更について

概要

過疎債を財源として実施する事業については過疎地域自立促進計画に掲載されている事業が対象となるため、新たに実施しようとする「田んぼアート公園整備事業」を過疎計画に追加するものと、それに関連した字句の訂正を行うもの。

要望

要望書「建設フェスタ in 安芸高田」の安芸高田市の補助事業としての位置付けについて

〔要望者〕 一般社団法人 安芸高田市建設業協会 理事長 和田一雄
〔審査結果〕 上記の要望は、委員会で継続審査することとした。

陳情

陳情書 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

〔陳情者〕 日米地位協定を見直す会 共同代表 難波希美子
〔審査結果〕 上記の陳情は、委員会で趣旨採択することとした。

文教厚生常任委員会

2月26日に委員会を開き、議案4件、請願1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

- 安芸高田市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市市保育所条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市市学校設置条例の一部を改正する条例
- ほか請願1件

委員長
副委員長
委員

秋田雅朝
玉井直子
玉重輝吉
児玉史則
青原敏治
水戸眞悟

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

概要

30年度からスタートした国保の県単位化の県全体の激変緩和措置が終了し、準統一保険料となる6年後に向け、急激な国保税の上昇にならないよう、市独自の軽減措置により、税率の改定を行うもの。

平均的世帯の国民健康保険税額試算

①世帯員が65歳以上の二世帯の方

・世帯主(70歳)	総所得金額	134万円
・配偶者(66歳)	総所得金額	0円



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	189,400円	188,800円	600円減

②世帯員が40歳以上65歳未満の二世帯の方

・世帯主(63歳)	総所得金額	153万円
・配偶者(62歳)	総所得金額	15万円



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	245,400円	248,000円	2,600円増

③世帯主が40歳以上65歳未満で40歳未満の配偶者と子どもが二人いる世帯の方

・世帯主(42歳)	総所得金額	253万円
・配偶者(38歳)	総所得金額	0円
・子ども(12歳)	総所得金額	0円
・子ども(10歳)	総所得金額	0円



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	416,500円	420,100円	3,600円増

④世帯員が65歳以上で所得の少ない一世帯の方

7割軽減該当

・世帯主(70歳)	総所得金額	30万円
-----------	-------	------



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	18,500円	18,300円	200円減

⑤世帯主が65歳以上、配偶者が40歳以上65歳未満の二世帯の方

5割軽減該当

・世帯主(67歳)	総所得金額	88万円
・配偶者(63歳)	総所得金額	0円



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	104,600円	104,800円	200円増

⑥世帯主が40歳未満の一世帯の方

2割軽減該当

・世帯主(34歳)	総所得金額	83万円
-----------	-------	------



	現行税率(A)	改正税率(B)	比較(B)-(A)
年間税額	94,500円	94,100円	400円減

認定こども園設置及び管理条例

■概要

31年度から、みどりの森保育所・ふなさ保育園・くるはら保育園を「保育所型認定こども園」へ移行することに伴い、設置及び管理条例を制定するもの。

保育所条例の一部を改正する条例

■概要

小田東保育所・甲立保育所・小原保育所が閉園し、民設民営による私立の認定こども園へ移行すること及び、みどりの森保育所・ふなさ保育園・くるはら保育園の「保育所型認定こども園」の移行に伴い、第2条関係の別表から削除するとともに、第6条に規定する保育時間、第7条に規定する休業日を規定で定めることにより削除するもの。

学校設置条例の一部を改正する条例

■質疑

青原 保育所型の認定こども園に移行するが、給食費の負担はどのようになるのか。
久城子育て支援課長 市内の公立保育所・幼稚園でバランスをとって考えており、これまでと同様に、保育所が無料で、幼稚園は実費徴収を考えている。

■概要

来原小学校と船佐小学校が 32 年4月1日に統合することで合意形成ができたため、名称を安芸高田市立高宮小学校に変更し、位置を統合校とする船佐小学校の住所である高宮町佐々部915番地1とするもの。



統合後、高宮小学校となる船佐小学校

■質疑

水戸 条例の施行が32年4月1日からとなっており、1年間の猶予がある。その間に協議を重ねた結果、川根小学校が高宮小学校に統合となることはありうるか。
永井教育長 全くないとは言えないと考えている。

請願

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

〔請願者〕 甲田町高田原下長屋地区産業廃棄物最終処分場建設反対常会代表者連絡協議会
〔審査結果〕 上記の請願は委員会で引き続き継続審査とした。

産業建設常任委員会

2月27日に委員会を開き、1件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

○指定管理について

委員長 熊高昌三
副委員長 芦田宏治
委員 山根温子
前重昌敬
大下正幸
金行哲明

(株)神楽門前湯治村経営診断・改善計画策定支援業務にかかる中間報告について

金行 P(計画)D

(実行)C(検証)A(改善)による伴走型支援を行うということは、短期間で答えを出さなければならぬのだと思うが、伴走型支援にはかなりの時間がかかるのではないか。

稲田商工観光課長

3年をかけて取り組んでいくつもりである。今年度は経営分析を行い、31年度に市場ニーズを含めて経営改善計画策定を支援し、32年度にアクションプログラムを作成して実行に移していく予定である。市が一緒になって伴走型で支援しながら進めていく形

なる。

前重 3年計画との説明があつたが、もっと早く出すべきではないのか。

稲田商工観光課長

部門別の収支については、31年度でほぼ計算できると思うが、その検討については少し時間をいただきたい。

観光振興施設に係る指定管理料について

芦田 指定管理料

はマイナス補填的なものでなく、行政が仕様書を示し、この施設の管理にはこれだけの管理料が必要というのが本来の指定管理ではないのか。

竹本副市長

行政としてこの施設を運営するにはどれくらい必要かを部門別に考え、収益性の部分、

非収益性の部分について適正な管理経費

がどれくらいかを一定の目安として現在分析している。最終的には指定管理料がどれくらい必要か、

稲田商工観光課長

神楽門前湯治村と協議する必要がある。

金行

31年度の予算の中に見直しした指定管理料は入っていないのか。

竹本副市長

商工会として出していただいた部門別の費用に基づき、指定管理料の増額を新年度予算に計上している。

山根

しっかり分析した数字で指定管理料を考えなければならぬ。商工会に市の観光施設の分析にかかわっていただきたいと思うが。

竹本副市長

部門別の経費を算定しているところであり、今後、商工会にさらに

分析していただき、より適正な指定管理料を検討する予定。

施設更新計画について

山根 改修計画等が34年まで出ているが、これは変更する可能性があると考えてよいか。

竹本副市長

空調は今年度と来年度で示している。たかみや湯の森と神楽門前湯治村の風呂の関係をどうするかは来年度協議・検討していく。全体的な改修は改善計画により、施設の更新だけでなくリニューアルの議論も必要になってくる。

<安芸高田市の3観光施設の更新費用の見通し>

単位：千円

	速やかに	5年後	10年後	20年後	計
神楽門前湯治村	75,000	216,000	274,000	291,000	856,000
たかみや湯の森	34,000	139,000	193,000	127,000	493,000
エコミュージアム川根	13,000	48,000	29,000	45,000	135,000
計	122,000	403,000	496,000	463,000	1,484,000



神楽門前湯治村

13人が 一問一答 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

**インターネット議会中継
みてください!一般質問・本会議を**

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<https://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

市民のホスピタリ
ガイド構想として、
体で取り組む市民総
ガイド構想として、
市長 外国人観光客
などへの対応を市全
体で取り組む市民総
ガイド構想として、
市民のホスピタリ



宍戸 邦夫
(無所属)

多文化共生

**市民総ガイド
構想の取り組みは**

市長/外国人とのコミュニケー
ション力を高める

ティ(おもてなし)の心を育むため、まずは言葉の壁を低くする手段としてタブレット・スマートフォンなどを活用し、相互の交流を深めるきっかけづくりを進めていきたい。

**障害福祉計画
の推進**

障害がいの者の就業場所と活躍できる

場の新たな確保は。市長 農業分野と福祉分野の連携、いわゆる農福連携による就労活動を考えている。現在、市内の障がい者の就労支援事業所と農家が協力し取り組みを進めている。今後、新たに活躍する場として、田んぼアートにもかわっていただきたいと思っています。



進めよう 多様な市民による持続可能なまちづくり

郡山城跡の整備計画は

教育長／看板の設置、危険木の伐採、登山道の整備を行う



芦田 宏治
(無所属)

芦田 来年は道の駅がオープンし、郡山城跡への観光客の増加が予想される。31年度の郡山城跡の整備計画を伺う。

教育長 看板の設置・修復や危険木の伐採を行うとともに、



整備が望まれる郡山城跡

子どもやお年寄りの方が登りやすいよう登山道の整備を行う。また、遺構保存のための樹木の伐採、枝打ちも計画している。

芦田 郡山の下草が鹿に食い尽くされ裸地化している。鹿対策と自然植生回復のため、郡山の森林整備が必要ではないか。

市長 郡山城跡は鳥

獣保護区と風致保安林に指定されているため、通常鹿などの捕獲ができず、樹木の伐採も禁止されており、長年森林の手入れがされていない。しかし、文化財保全のための伐採は可能なので、教育委員会とも連携し、文化財保存活用計画に基づく郡山の森林整備を検討する。

復旧・支援

農業関係被害の復旧・支援は

市長／補助事業を利用して支援する



玉井 直子
(無所属)

玉井 被災している井堰や井堰周辺の水路。本来は農業従事者が対応するものがあるが、今回の激甚

玉井 昨年7月豪雨災害で被災した農地農業用施設は何件で状況は。

市長 農地災害は36箇所、農業用施設災害は53箇所である。今後、復旧に向けた建設工事の詳細測量・設計を行っている。

玉井 農作業時期になるがどんな計画か。

猪掛産業振興部長 査定が終わり7月以降の工事発注の見込みである。



被災した井堰（甲田町）

災害の時には、何か支援が必要では。

市長 国庫補助制度の利用、単独市費補助事業で支援する。復旧の見通しが不明の井堰や水路等があれば農林水産課及び各支所へ相談を。

(その他の質問)
○小学校統合後の対応

農業振興

農業振興計画の策定は

市長／高田郡広域農業振興計画の見直しを行う



前重 昌敬 (無所属)

前重 本市の農業施策の現状について。

市長 人口減や後継者不足が深刻な課題となっている。このため、農地の荒廃を防ぎ、効率的な活用を図り、担い手の明確化等を行う「人・農地プラン」の策定や、日本型直接支払制度の活用を通じて、小規模な農業者と担い手が役割分担しながら、農業に取り組む施策を進めてきた。

前重 過去に策定した高田郡広域農業振興計画は、**猪掛産業振興部長** 15年に10年計画で策定した高田郡広域農業振興計画は、そ

の後策定してなく、市の総合計画の中で掲げている。
前重 担い手の育成強化、農畜産物の生産力強化、販売力の強化、農地等の保全の取り組み等を柱とした、農業振興計画の策定が必要では。
市長 農業施策の振興が発展するよう見直しを行っていく。



合併前に策定された農業振興計画

防 ため池管理強化へ
災 市長／ため池の調査をする



金行 哲昭 (無所属)

金行 広島の各地でため池の決壊があり、市で被害を及ぼす恐れがあるため池は。

市長 本市内のため池は792箇所あり、防災重点ため池が3箇所あり、再認選定をするため調査を行って



みんなでため池管理 (甲田町)

大土山、三次との境界

いる。
金行 土砂災害警戒区域の指定の告示はどのようか。

市長 本市は29年度に吉田町と八千代町、30年度の3月中旬をめどに、甲田町と美土里町の指定を行い、31年度中に向原町と高宮町を指定する予定である。

金行 歴史ある大土山、甲田と三和との境界の進捗状況は。

市長 上小原大土山共有地だが、上小原共有地の方々と下小原共有地、三次市、本市の4者合同で現地確認を行い、具体的な協議をし、市境の確定を進めていきたいと考えている。

今後の地域づくり

人口増加対策は

市長／地域と深い関係を結び移住の増加を



秋田 雅朝
(無所属)

秋田 関係人口増加対策は、地域づくりの重要課題であり、関係性の質を高める視点の変換が必要と考えるが見解は。

市長 本市では、ふるさと応援の会等で深い愛情をもって強



神楽東京公演のふるさと納税PRコーナーで関係人口の構築

力な支援をもらっているが、地域と深い関係が結ぶことで、移住が増加するのではと考えている。

秋田 他県の事例で住んではいけないが、その地域に貢献し、人とのつながりを求める「2地域居住の支援」があるが、検討はできないか伺う。

市長 実態を検討し、

参考にさせてもらう。

秋田 「リビングラボ」の取り組みは地域づくりの一案になるのではと考えるが。

市長 地域と企業をつなぐ取り組みは、地域づくりにも大いに役立つと思う。

(その他の質問)

○外国人労働者の受け入れ拡大について

資産処理

上根グラウンド売却その後は

市長／豪雨災害の影響で遅延



山本 優
(無所属)

山本 落札より3年が経過している。昨年8月には着工の計画であったが実行されていない。指導については。

青山産業振興部特命担当部長 企画提案書に基づいて着工するとあったが、豪雨災害が理由ということとでやむを得ないと判断。

山本 工期、着工遅れ等の対応についての明記は。



建築工事が進まない上根グラウンド

市政方針の有害鳥獣対策について

山本 有害鳥獣対策の内容が昨年と同じである。今までは変わった方法を検討すべきではないか。

市長 最新の機器を利用した効果的な取り組みについて一番効果のある方法を模索してゆきたい。

キャッシュレスについて

新田 民泊のWi-Fi整備に支援策は

市長 20万円を上限とした補助金を交付している。

新田 市民総ガイド構想や、プログラミング教育の研修施設にWi-Fi設置は。

市長 施設の利用頻度を調査し、必要な箇所から整備を考えたい。



新田 和明 (無所属)

Wi-Fi整備

今後のWi-Fi環境整備への考えは

市長 あらゆる分野で求められていると認識している



活用が期待される公衆Wi-Fi (神楽門前湯治村)

新田 企業のキャッシュレスへの支援は。

市長 国は、決済端末の導入費用を、実質0円になるよう補助制度を検討している。市も動向を踏まえ検討していく。

新田 地域通貨を活用した、地域活性化事業への考えは。

市長 検討していく価値があると思う。全国の事例を調査研究し、政策展開に結びつけていきたい。

(その他の質問)

○本庁庁舎内に観光案内所の設置について

児玉 農地や水路の土砂撤去は高齢者には負担が重荷になる。その支援状況は。

市長 国庫補助を利用、制度にのらない災害は単独市費の補助事業で対応する。



児玉 史則 (無所属)

農地、水路、頭首工への追加支援は

市長 これ以上は受益者負担が原則

豪雨災害の早期復旧

市長 民有施設等は市内全体で考える必要があり、受益者の負担が必要である。

児玉 井堰の崩壊は3〜4年稲作ができない。ポンプ等の支援が必要では。

市長 一時的なお金でなくもっと高いレベルの農業支援、活性化に向け取り組む。



高齢者に厳しい水路の土砂

行政事務の効率化

児玉 将来、人口減に伴い市単独での公共サービスの提供は難しくなる。行政事務は他の町と同様であり連携が必要では。

市長 難しい課題だが、しっかりと取り組んでいきたい。

屋外スピーカー設置は 市長／現時点では 考えていない

防災について



青原 敏治
(無所属)

青原 防災無線、屋外スピーカー設置は。
市長 かつては、八千代町と向原町で整備をしており、避難情報の伝達手段の一つとして、光ネットワークの整備と併せ、お太助フォンを整備

してきた。防災無線の整備についての意見だが、確かに複数回の伝達手段を整備することは利点もあると思う。しかしながら、多額の初期投資が必要で、財政的な面も考慮する事などで、現時点では、具体的な整備は検討していない。



ぜひ設置を！屋外スピーカー

ハザードマップは

青原 ハザードマップの活用は。

市長 ハザードマップについては市民の方が非常に關心を持っておられて、市民の方々にわかりやすい啓発を今後していきたい。

本年度の 予算編成は

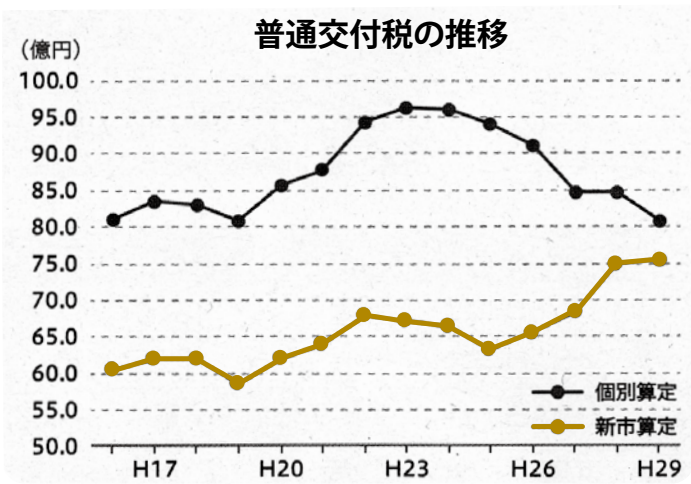
市長／新しく
健全化計画の中で



塚本 近
(無所属)

塚本 厳しい中での財政健全化を進めるには、各種事業の見直し、新しい事業など市民への説明が必

塚本 財政健全化計画が進む中、本年度の予算編成は。
市長 市税の伸び悩み、交付税の減額、公共施設の維持修繕やインフラ施設の更新など厳しい財政が続く中、昨年7月の豪雨災害により、その厳しさは増している。そんな中予算編成では、人口減対策、災害復旧復興支援を重点に作成した。



要と考えるが。
市長 事業の見直しについては、新たな財政健全化計画を策定する中で事業の検証を行っていく。市民への説明については、直接市民の皆様との対話や、広報・ホームページ等により行い意見をもらい、施策へと結びつけていく。

山根 翻訳アプリを使っても医療の通訳では正確な通訳にならず、かえって危険な事もあると聞か。 **市長** 全国に先駆けの新しい施策であ

山根 市民総ガイド構想の今後の取り組みは。 **市長** 言葉の壁が課題であり、翻訳機器等を活用し、まずは相互の交流を深め、きっかけづくりを促進していく計画である。



山根 温子
(無所属)

多文化共生

市民総ガイド構想とは

市長／ホスピタリティ・おもてなしの心を育むこと

り、問題が起こらないよう関係機関ともしっかりと調整する。

公共施設の維持管理

山根 老朽化した施設



言葉の壁を超え、さらに交流を深める

設は、市民の生命と財産を脅かす時限爆弾とも言われる。今後の維持管理についての考えは。 **市長** 再度、施設点検管理を含め検討。

山根 施設の利用率を上げる活用は。

教育長 八千代図書館がフォルテ内へ移転することで、今後は利便性や利用率の向上が期待できると考えている。

熊高 多文化共生推進へ、国の支援制度を活用しているか。 **市長** 入管法が改正され、昨年末、総務省から外国人受け入れと共生のための総合的対応策が公表され、調査中である。



熊高 昌三
(無所属)

多文化共生推進へ国の予算活用を

市長／国も本市の取り組みを評価している

熊高 本市の多文化共生推進員の方は毎月270件近い相談に対応されている。多量の業務を行うために人材確保に国の支援制度を活用出来ないか。 **市長** 総額2.1億円



多文化共生推進に取り組む相談員

市民総ガイド構想

熊高 取り組む内容と将来への見通しは。

市長 外国人と日本人との意思の疎通と理解が無いと多文化共生は進展しない。スマートフォン端末や翻訳機器を導入して言葉の壁を越えることで共生社会が実現すると考えている。

平成30年度 市議会地域懇談会（回答）

安芸高田市市長 浜田 一義

表題の件につき、安芸高田市議会基本条例に基づく市議会としての取り組みに心より敬意を表します。

さて、平成30年12月20日付けで上記表題にて報告のあった件は、大枠2点に整理し次のとおり回答いたします。

最初に市民171名から838件の意見・要望があった件は、市議会としては市政運営の参考にされたいとの要望でございますので、このことを真摯に受け止め、対応させていただきたいと考えます。

次に執行部として、市民との懇談会を開催するようにとの要望でございますが、基本的には様々な機会を通して、市民の皆様のご意見ご要望などをお聞きしているところでございます。今後、自治懇談会の活用やテーマ別懇談会の設定など、引き続き取り組みを進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

以上

平成30年度 地域懇談会における取り組み状況

総務企画常任委員会所管

	要 望	提 案
総務部	90件	54件
企画振興部	48件	43件
議会事務局（その他含む）	16件	10件
合 計	154件	107件

上記の要望、提案の中で市内（各町6会場）とも共通する内容として、防災、公共施設の利活用、地域振興組織・地域の活性化、人口減対策について、多く出されています。今回の市民の皆さんからの要望、提案に基づく具体的な執行部からの政策提案はありませんが、今後、議会（総務企画常任委員会）として執行部とともに要望、提案が市政に反映されるよう取り組みを継続的に進めていきたいと考えています。

文教厚生常任委員会所管

○通学路の安全対策と整備について

市民からの意見（抜粋）

安全対策を各課の連携で取り組んでほしい。特に危険箇所は、再点検をお願いします。

教育委員会の回答

通学路の安全対策は「交通安全プログラム」を策定し、昨年9月に市内各町の合同点検を実施し洗い出しを進めました。結果はホームページに掲載しています。市道については今後3年以内で整備を行う予定です。

平成31年度の取り組み

市道道路維持の予算は、建設部すぐやる課の所管で、今年度予算を工事請負費約8000万円を計上しています。工事内容は、「交通安全プログラム」に緊急箇所を75箇所要望しており、そのうち「プログラムに載せる28箇所のうち、今後2年の16箇所を選定し、その中の7路線について、今年度「通学路危険対策路線工事」として対応します。

今後2年で対応を予定している路線

吉田町 ①新町1号線 ②立繩手線 ③貴船線 ④高樋貴船線 ⑤貴船縦線 ⑥一本木小山線
 八千代町 ⑦勝田根之谷線 ⑧出口1号線
 高宮町 ⑨川根小学線 ⑩甲田作木線 ⑪西田くいわら線 ⑫川平大畑線
 甲田町 ⑬新町福丸線 ⑭甲立中央線
 向原町 ⑮上戸島線 ⑯上通り線

産業建設常任委員会所管

産業建設常任委員会で多かった意見の一つは、鳥獣害対策でした。議会でも関心の高い課題であり、今までも執行部へ強く要望してきたところです。しかし、現状は捕獲や防護柵などの取り組みが主となっており、委員会としては抜本的対策の必要性を訴えてきました。

その対策の一つとして、山林の計画的な整備に取り組み、獣が人里や農地に近づかない仕組みづくりを提案しています。執行部も委員会の提案に対し、具体的な取り組みとして2回の講演会を行いました。

1回目は獣害対策の専門家を招いて現状の認識と具体的な対応について、2回目は、竹チップの堆肥化による循環型地域づくりについて研修しました。2回の講演は多くの市民が参加され、好評でした。

今後は、執行部に対し、研修してきたことを地域ごとに実施するよう要望していきます。



獣害対策講演会に多くの市民が参加

令和元年度地域懇談会開催日（予定） ※時間はいずれも19時開始

- 吉田町：7月17日（水） 安芸高田市民文化センター（クリスタルアージュ）
- 美土里町：7月19日（金） 美土里生涯学習センターまなび
- 八千代町：8月1日（木） 八千代文化施設フォルテ
- 高宮町：8月5日（月） 高宮支所（※月曜日のため高宮田園パラッツォは休館日）
- 向原町：8月7日（水） 向原生涯学習センターみらい
- 甲田町：8月9日（金） 甲田文化センターミューズ

31年3月28日芸北広域環境施設組合議会の定例会が北広島町で開催され、議案3件を慎重に審査しいずれも原案のとおり可決しました。

(主な審査)

- 平成30年度芸北広域環境施設組合一般会計補正予算(第1号)
- 平成31年度芸北広域環境施設組合一般会計予算に対する関係市町の負担割合について
- 平成31年度芸北広域環境施設組合一般会計予算

芸北広域環境施設組合議会議員

- 前重 昌敬
- 熊高 昌三
- 金行 哲昭
- 青原 敏治
- 先川 和幸
- ほか北広島町議会議員3名

31年度予算

一般会計6億6817万円
(対前年度 3310万円増)

人口減少の中

増える燃えるごみ問題

環境教育推進事業に192万円〔新規〕

可決

背景

増え続けるごみの処理問題
(財政危機・環境問題)

事業概要

学校・市・施設が連携した環境教育の推進

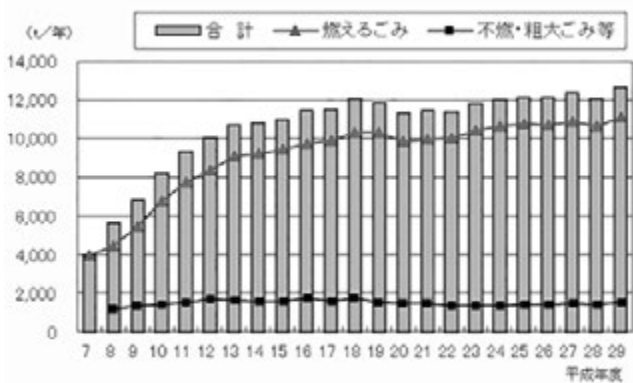
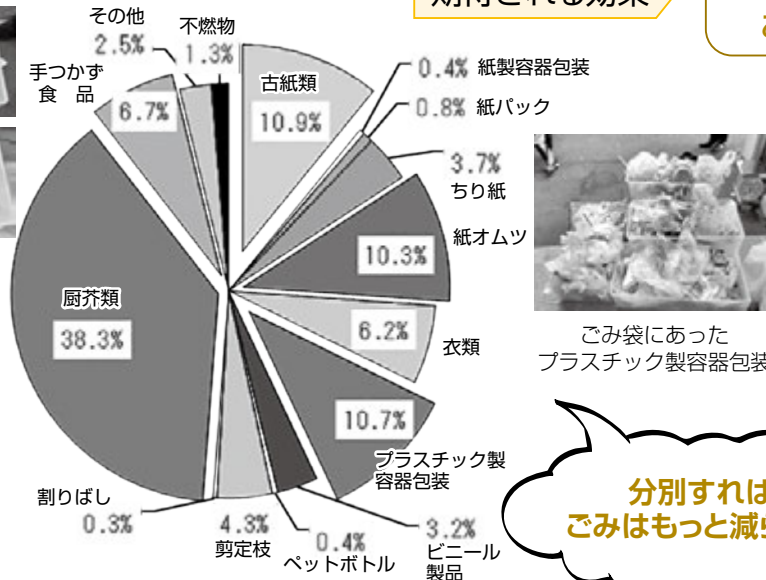


図1 芸北広域きれいセンターへのごみ搬入量の推移

燃えるごみの中味は？



ごみ袋の中の
手つかず食品



ごみ袋にあった
プラスチック製容器包装

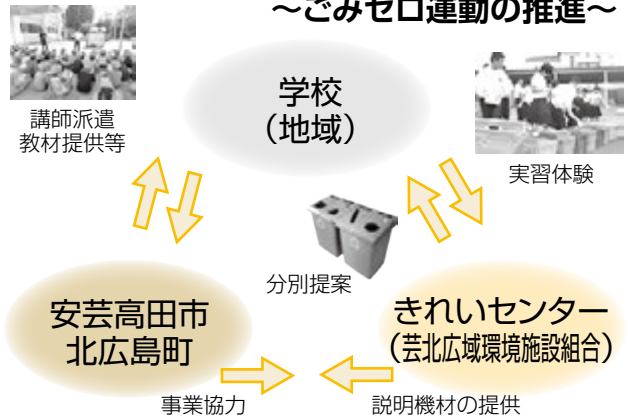
期待される効果

環境教育の成果が
地域へ波及し、
ごみの減量化が促進

ごみ処理経費
が減少する

分別すれば、
ごみはもっと減らせる!

～ごみゼロ運動の推進～



生徒議会開催 高宮中学校生徒が市政を問う

明るい選挙推進協議会の主催で、高宮中学校当時2年生の生徒による生徒議会が1月31日に議場において開催されました。

12月からクラス25名全員で地域の課題や市の施策を調べて話し合い、まとめた質問事項を一般質問形式で市長へ問いました。

生徒からは少子高齢化に対する取り組み、観光や空き家・空き地対策を活用した市・地域の活性化や、7月豪雨災害の経験から市民を守る取り組みなど、自分たちの思いや提案を施策に反映できないかと質問がありました。

また、会議の終わりに『よりよい安芸高田市・高宮町にするため、互いのよさを認め、協力して



採決を行う高宮中学校の生徒議員（1月31日）

学校生活を送るための決議』を行い、「これまで支えて、育ててもらった保護者や地域の方の気持ちに応える行動をしてく」と決意を表明しました。

議会のうごき 1月～3月の議会の主な活動状況

1月

- 15日 議会改革特別委員会
- 21日 全員協議会
田んぼアート事業調査特別委員会
道の駅整備調査特別委員会
- 22日 議会広報特別委員会
- 23日 議会運営委員会

2月

- 1日 道の駅整備調査特別委員会
田んぼアート事業調査特別委員会
- 4日 議会広報特別委員会
- 13日 議会運営委員会
議会改革特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
- 21日 第1回定例会（開会）
議会広報特別委員会
- 22日 予算決算常任委員会
- 25日 本会議（補正予算）
総務企画常任委員会
- 26日 文教厚生常任委員会
- 27日 産業建設常任委員会
議会運営委員会
- 28日 本会議（一般質問）

3月

- 4日 本会議（一般質問）
- 6日 道の駅整備調査特別委員会
- 7日 予算決算常任委員会
- 8日 予算決算常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 15日 第1回定例会（最終日）
議会改革特別委員会
- 19日 全員協議会
議会広報特別委員会
- 27日 議会改革特別委員会
田んぼアート事業調査特別委員会

■令和元年第2回定例会は6月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 未来へはばたけ



郷野小学校最後の卒業式(3月20日)

八千代 八千代町民文化祭



八千代文化施設フォルテ(2月24日)

美土里 美土里B&G海洋センター リニューアルオープン記念式典



美土里B&G海洋センター(2月23日)

高宮 高宮B&G海洋センター 大会前の風船割りイベント!



第42回県北招待剣道大会(3月21日)

甲田 卒業おめでとう!



第1回甲田小学校卒業式(3月20日)

向原 若者のパフォーマンス



ふれあいカラオケ発表会(2月3日)

編集後記

桜の花びらが風に舞い、春
たけなわといった風情です。
春風が心地よい季節となり
ました。

そして「平成」に代わる、新
しい元号が「令和」と決まり、
新しい時代が始まります。

3月定例会では、新年度予
算を審査し可決いたしました。
昨年7月豪雨災害からの復興
のほか、人口減を克服するた
めの施策がもりこまれた予算
計上となっております。

私たち広報委員一同、読み
やすく、わかりやすく、親し
みのある議会だよりにしてい
きたいと思っております。

皆様のご意見・ご感想をお
寄せください。(玉井直子)

〈発行責任者〉

議長 先川和幸

〈議会広報特別委員会〉
委員長 山根温子
副委員長 玉井直子
委員 新田和明
芦田宏治
玉重輝吉
山本優

